

【とら質地流状】
しつち ながしじょう

(端裏書)「五条之坊門」

し(質)ちにをき申候御ちくの事、
五(条)てうのはうもんむろまち、むろ
まちよりひ(東)かしきた(北)の御ちにて候
を、甘くわん(貫)にをき申て候へとも、その
み(身)うけゑす候て、な(流)かし申候う
ゑハ、いかなる物にて候とも、(違乱)いら・わ(ん脱)
つ(煩)らい申候御事あるましく候、
もし申候御事候ハ、この
し(状)やうをさき(先)として、御さ(沙汰)た候はん
するに、し(子細)さいあるましく候、よりて
のち(後)のためにな(流)かれしやう(状)候事、
かうり(康暦)やくくわんねん(元年)あさなとら(花押)

十月七日